かかりつけ薬剤師・薬局の推進について

１　経緯

医薬分業の推進により、医薬分業率が昭和５０年頃から徐々に上昇し、平成２９年度には７２．８％に至っている。しかしながら、平成２７年の国の規制改革会議において「医薬分業推進の下での規制の見直し」が取り上げられ、現在の医薬分業は、医療機関の周りにいわゆる門前薬局が乱立し、患者の服薬情報の一元的な把握などの機能が必ずしも発揮できていないなどの問題が指摘された。

こうした状況を踏まえ、国では、平成２７年に、かかりつけ薬剤師・薬局の今後の姿を明らかにし「患者のための薬局ビジョン」を策定し、57,000の薬局を患者本位のかかりつけ薬局に再編を進めている。

２　本県の取り組み

（１）平成２９年度

①地域包括支援センターに対する医薬品の相談薬局（24 時間対応）創設事業

ア　目的：薬局薬剤師が、地域包括支援センターと連携して、介護職員等との関係を強化し、在宅服薬指導の足掛かりを作り、患者のための薬局ビジョンの早期実現を図る。

イ　内容：介護関係職員への医薬品の基礎研修を実施した上で、地域包括支援センター毎に医薬品の相談薬局を創設し、いつでも医薬品の相談が可能な体制を構築する。

ウ　実施結果：実施した地域薬剤師会数　　９地域薬剤師会（１３市町）
実施した地域包括支援センター数　　３３箇所
対応した薬局数　　６６薬局
相談件数　　９６件

②地域に根ざした薬剤師・薬局養成事業

ア　目的：地域包括ケアシステムを構築する中で、訪問薬剤管理指導を実施している薬剤師・薬局が果たすべき役割を確立する。

イ　内容：県薬剤師会・県病院薬剤師会・県訪問看護ステーション協議会が構成員となる連携会議を開催する。県連携会議での検討結果を受け、モデル地域において、地域薬剤師会・地域の拠点病院の薬剤師・地域の訪問看護師・市町村職員を構成員となる地域連携会議を開催する。

また、県では県民の薬局の利用状況等をインターネットアンケートにより調査する。

ウ　実施結果：県連携会議開催回数：３回
地域連携会議開催回数：７地域薬剤師会　１９回
インターネットアンケート　調査人数　５，０００名

（２）平成３０年度

①介護関係職員に対する医薬品相談薬局及びケアマネジャーに対するサポート薬局の創設事業

ア　目的：平成２９年度に実施した地域包括支援センターに対する医薬品の相談薬局（24 時間対応）創設事業を拡充し、介護関係職員との一層の連

携強化を図り、地域におけるかかりつけ薬剤師・薬局の定着を図る。

イ　内容：平成２９年度事業に加え、新たにケアマネジャーに対して幅広く相談を受け付けるサポート薬局を創設する事業及び居宅介護支援事業所等に対してかかりつけ薬剤師・薬局の役割を説明する研修を実施する。

ウ　実施結果（予定）：介護関係職員に対する医薬品相談薬局　５市町村
介護関係職員に対する研修　１８市町村
ケアマネジャーサポート薬局　１３市町村

②病院での薬剤管理を患者の生活モデルに合わせ、切れ目なく在宅に導入できる人材育成事業（薬一薬連携）

ア　目的：地域の拠点病院を中心として、地域の薬局と薬学管理情報の共有化を図り病院と薬局の連携を構築できる人材育成を図る。

イ　内容：「知識の共有化」と「技術（服薬指導）の共有化」を柱として、病院薬剤師と薬局薬剤師がそれぞれの業務を理解するために相互乗り入れによる研修を行うとともに、連携を図るためのマニュアルを作成する。

ウ　実施結果：実施地域　３地域薬剤師会

③地域に根ざした薬剤師・薬局養成事業

ア　目的：地域包括ケアシステムを構築する中で、訪問薬剤管理指導を実施している薬剤師・薬局が果たすべき役割を確立する

イ　内容：平成２９年度のモデル地域での地域連携会議の実施状況を踏まえて、県連携会議及び地域連携会議を開催し、薬剤師と他職種との連携の課題について、地域ごとの対応策を検討しマニュアルを作成する。

在宅医療に対応できる薬剤師を育成するために、訪問薬剤管理指導の経験が浅い薬剤師に対して、経験が豊富な薬剤師が同行する。

ウ　実施結果（予定）：県連携会議開催回数：３回
地域連携会議開催回数：２０地域薬剤師会　５３回
訪問薬剤管理指導同行研修　１００名

（３）平成３１年度（案）

①地域に根ざした薬剤師・薬局養成事業

ア　目的：地域包括ケアシステムを構築する中で、訪問薬剤管理指導を実施している薬剤師・薬局が果たすべき役割を確立する

イ　内容：平成２９年度・３０年度に地域で話し合われた地域の課題及び対応マニュアルについて、地域全体で共有するための地域フォーラム（研修会）を開催する。在宅医療に対応できる薬剤師を育成するために、訪問薬剤管理指導の経験が浅い薬剤師に対して、経験が豊富な薬剤師が同行する。訪問薬剤管理指導実施に、患者の状態の把握に必要なフィジカルアセスメントのための測定機器の購入費の支援を行う。

ウ　実施予定：県連携会議開催回数　１回
地域連携会議開催回数　２０地域薬剤師会　２０回
フォーラム（研修会）　２０回
訪問薬剤管理指導同行研修　６０名
フィジカルアセスメント測定機器補助　５０か所